

平成 29 年度 第 5 回理事会

場所：谷野呉山病院

日時：平成 29 年 10 月 2 日(月)19:00～

参加者：田村・松岡・作田・島津・丸本・田邊・高林・齋藤・松本・森・桐山・古澤・小倉

<報告事項>

1. 県士会懇親会 9 月 9 日－32 名（内 新卒者 7 名）の参加
2. 東海北陸リーダー研修会 10 月 14, 15 日 三重県四日市－丸本常務理事、水島氏・河井氏（厚生連滑川病院）、衣笠氏（松岡病院）、岡田氏（八尾総合病院）の 5 名参加予定
3. OT 協会認知症作業療法推進委員会 11 月 18, 19 日 東京－齋藤理事、桐山理事参加予定
4. OT 協会災害ボランティア研修会 11 月 19 日 協会会議室－砺波地区リーダー高田氏参加予定
5. 東海北陸作業療法学会座長依頼 身障分野 2 セッション－古澤理事、長江氏（県リハビリテーション病院・こども支援センター）推薦
6. 次期理事候補－大谷内氏（氷見市民病院）、能登氏（かみいち総合病院）、大平氏（あさひ総合病院）、吉村氏（八尾総合病院）承諾
7. ねんりんピック 2018（11 月 3～5 日 健康と長寿の祭典と兼ねる）への出展 富山県総合体育館－PT、OT、ST 三団体合同でできないか調整中
8. OT 協会倫理委員長より倫理問題事案の仮処分の決定（退会）について報告あり。
9. OT 協会士会システム講習会 10 月 28, 29 日 協会会議室－吉波理事参加予定
10. OT 協会運営に関する作業療法の指針説明会および士会協力者会議 11 月 12 日 東京－桐山理事参加予定
11. 富山県福祉カレッジ専門多職種連携とソーシャルワーク実践研修 11 月 16 日 高志会館－高林理事、橋爪理事、水上氏（砺波誠友病院）参加予定
12. 小矢部市大家病院 50 周年式典・祝賀会 10 月 8 日－松岡副会長出席予定
13. OT 協会生涯教育推進担当者会議 11 月 12, 13 日－谷口理事参加予定
14. 生涯教育現職者選択研修会「老年期障害」11 月 19 日 滑川市民交流プラザ
15. OT 協会 47 委員会より 30 年度作業療法モデル事業（組織強化・人材育成）の決定のための投票依頼－田村会長対応
16. 県学会進捗状況－9 月時点で演題登録 0 であり、學術部の各部に依頼する。
17. 9 月 10 日 障害老人部会研修会－OT47 名、他職種 3 名の参加
18. 10 月 1 日 在宅医療研修会－61 名（内 OT 21 名）参加。来年度でこの研修会は終了するので、士会員全員が受講済みになるよう働きかける。
19. 9 月 30 日 MTDLP 事例検討研修会－推進委員を含め 27 名の参加

<検討事項>

1. ホームページの運用について
 - ・研修会案内掲載についての規程富山県士会の主催、共催、後援の研修会、OT 協会の主催、共催、後援の研修会、SIG につ

いて掲載する。

- ・求人広告の掲載について

県士会所属の施設に限り広告掲載として受け付ける。

- ・ホームページ担当者への手当の支給

ホームページ管理料として年額2万円を支払う。

2. 12月2, 3日に福井県で開催されるMTDLP事例検討会参加者への謝金について

今年度は宿泊費も必要。懇親会費を出す条件はこの事業を担っていく人材となることだが、今の段階でそれを条件として参加してもらうのは難しい。実際には参加者の内、懇親会に参加せず1日目で帰る人が多い。来年度は富山県で開催予定。

3. 全体会の日程、内容

12月13日(水)19:00～谷野呉山病院。来年度事業計画の調整。學術部の研修会の日程、内容等は3月末までに決定するように。

4. 協会員＝士会員の方向性について

すでにOT協会、47委員会では協会員＝士会員へ5年以内にする決めていたので士会員に周知体制づくりをしていく。

平成29年度 第6回理事会

場所：谷野呉山病院

日時：平成29年11月6日(月)19:00～

参加者：田村・作田・島津・丸本・吉波・小倉・田邊・齋藤・橋爪・松本・桐山・谷口
小寺会計士

〈報告事項〉

1. OT協会運営作業療法の指針説明会 11月12日東京一桐山理事と丁子氏(富山リハビリテーション大学校)参加。富山県の取り組み状況、質問事項を報告する。
2. 地域ケアに関する研修会—30年1月20日サンシップとやまにて開催
3. 災害時の連絡体制の訓練 12月中に実施予定
4. 東海北陸作業療法学会—開会式およびレセプションにて士会の活動紹介：田村会長、ポスターにて認知症作業療法推進委員会活動紹介—齋藤理事作成
5. OT協会士会接続システム講習会 10月28, 29日
導入によるメリット、デメリット、今後、県士会で行なう必要のある業務の説明がなされ、取り組み方については今後検討していく。
6. 12月2, 3日福井MTDLP事例検討会報告者—裏田氏・野間氏(南砺市民病院)、熊南氏(あんじゅーる)、山本氏(アルペンリハビリテーション病院)、杉本氏・橋本氏(県リハビリテーション病院)予定
7. 自動車運転についてホンダ佐藤氏との話し合い—12月6日19:00～ 県リハビリテーション病院にて開催。会長、事務局長、桐山理事、丁子氏他関係者参加予定

〈検討事項〉

1. 小寺氏より財務に関する指導事項

税務署より現在、士会員に支払われている謝金と交通費について適切な処理がなされていないとの指摘があり、小寺会計士より指導を受けて以下に改善する。

- ・謝金など給与として支払われているものについては、源泉徴収を支払っていく。今後は源泉徴収を含めた金額設定を行い源泉徴収票の作成及びマイナンバーの提示をお願いする。
- ・交通費についても源泉徴収が発生しないよう旅費として支払う事とし、旅費規程を作成する。公共交通機関は実費、自動車は移動距離に応じた金額を支払う事にする。距離の算定、金額の設定については次回理事会で検討する。
- ・上記2点について文書を作成し先ずは全体会で説明する。

2. 来年度事業計画について

概ね各部署の提案どおりとなった。来年度からMTDLPの研修は教育部の事業として行われるので、これまでのMTDLP委員との関係を明確にする。事例検討会開催については地域リハ部会の協力を得る。各部会での事例検討会の開催について全体会で確認し、困難な点についての対応策を講じる。調査部の事業が円滑に進むよう人員を増やす。

3. 来年度県学会

30年度は富山北地区で開催。今後は現在の高岡地区を砺波地区と高岡地区の2区に分け、学会開催の順を高岡・富山北・新川・砺波・富山南の5地区で巡回する。2020年度は東海北陸作業療法学会開催となり、準備委員会の立ち上げが必要。また、同年は県士会一般社団法人化10周年にあたる。

4. 地域ケア会議・総合事業などに関わる研修会の開催について

各市町村で「日常生活支援総合事業」が本格導入されるにあたり、リハ職の積極的な関与が求められる。そのニーズに応える人材育成が必要であり、各施設から1名以上の参加を募る。
日時：平成30年1月20日（土）9:45～16:00 場所：サンシップとやま 会費：500円（資料代）

平成29年度 第7回理事会

場所：谷野呉山病院

日時：平成29年12月4日（月）19:00～

参加者：田村・松岡・島津・丸本・吉波・田邊・高林・齋藤・橋爪・松本・谷口・森・古澤

〈報告事項〉

1. 12月11日に災害時を想定した情報伝達・状況確認訓練実施－自宅会員の発送の確認必要。一人職場で産休中の会員の安否確認はリーダーが直接施設に問い合わせる。総会時にこのシステムについて配布し施設で保管してもらう。
2. 学会進捗状況－演題20題応募（口述9題、ポスター11題） 特別講演は講師の都合により午後に変更。演題発表は午前にする。
3. 在宅医療研修会12月3日で今年度の開催は終了。来年度でこの研修会は終了。

4. 地域アドバイザー委員会－1月20日の研修会参加申込みは現在18名。12月28日締切。
5. 11月11, 12日 生涯教育推進担当者会議－来年度現職者共通研修、選択研修について改訂あり。バーコードリーダーを使用した受付システムの運用
6. 12月2, 3日 北陸三県MTDLP事例検討会－富山県5事例、福井県3事例、石川県4事例提出。会場の都合により一事例40分の検討時間で少なかった。来年度は富山県にて開催なので余裕もてる会場を探す。
7. 11月18, 19日 認知症作業療法推進委員会－今後の県士会委員会の活動として県士会員の実績把握、広報活動、地域アドバイザー、ケア会議との連携が必要。

<検討事項>

1. 来年度事業計画修正案
 - ・総務部－協会会員の名簿作成のため、名簿作成規約の作成をする。
 - ・地域リハビリテーション部会－MTDLP事例検討会を教育部に協力して運営する。
 - ・MTDLP推進業務の役割分担の明示
 - ・福祉用具相談支援事業推進委員会－生活行為工夫情報モデル事業に取り組む。
2. 部会等の活動に伴う交通費の規程
勤務施設～会場の往復距離
自家用車－10km 毎 100円刻み 100km以上 1,000円
公共交通機関－1,000円を上限として実費
3. 東海北陸作業療法学会の協会・士会員の扱い
発表者は東海北陸の各県士会員であること、参加者は他県士会員も可。
4. 自動車運転に関する委員会の設置
桐山理事を中心に進める。公安委員会との連携が必要。研修会では認知症委員会と連携、運転支援ニーズの把握は調査部に依頼。